

令和 6 年度

市議会と市民との意見交換会 記録

令和 7 年 1 月 29 日（水） 19：00～20：00

伊勢市議会

開 会

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

皆様こんばんは。少し定刻前ですけれども、お揃いですので始めさせていただきたいと思います。

本日は、伊勢市議会と市民の意見交換会に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。司会進行を務めさせていただきます、議会のあり方調査特別委員会、広報広聴検討分科会の副会長の久保と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、浜口議長より御挨拶を申し上げます。議長、よろしくお願いいたします。

■挨拶（浜口 和久 議長）

どうも皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、伊勢の市議会と意見交換会を開催させていただきましたところ、たくさんの皆さんに御参加いただきまして、誠にありがとうございます。伊勢市議会の浜口でございます。

皆様におかれましては、日頃、伊勢の総連合自治会ということで、日頃から地域の自治活動における調整など、幅広く市政に御尽力いただきまして、誠にありがとうございます。感謝を申し上げる次第でございます。

昨年も議会報告会というふうな形で意見交換会をさせていただきました。今年も、また新たに皆さんと意見交換会というふうな形で開催をさせていただきましたので、日頃から地域で懸案となっております課題、それから、市政のこと、また議会に対する事項につきまして、忌憚のない御意見を頂戴いたしたいと思います。そして今後の議会運営や行政に反映をさせていただきたい、そのように考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

今日は限られた時間ではございますが、皆様方の御意見をいただいて、有意義な時間を過ごさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

誠に簡単でございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

議長、ありがとうございました。着座で失礼いたします。

それでは、御手元に配付いたしました事項書を御覧ください。参加議員は事項書の記載のとおりでございます。皆様との意見交換の時間を確保させていただきたいため、個々の議員の紹介は控えさせていただきますので、御了承をお願いいたします。

本日はこの後、市政、議会、地域課題等に関する意見交換を 50 分ほどさせていただき、終了は午後 8 時を予定しております。恐れ入りますが、携帯電話をお持ちの方はマナーモードに切替えいただきますようお願いいたします。また、会場内は禁煙になっております。

本日いただいた内容の記録を作成し、後日、市議会のホームページに掲載させていただきたいと考えております。記録には意見をいただいた方の個人名は掲載しませんが、内容によっては、お住まいの地区、個人が特定されてしまうこともございますので、あらかじめ御了承いただきたいと思います。約 1 時間と限られた時間ではございますが、実りあるものとなりますよう進めてまいりたいと思いますので、皆様の御協力、よろしくお願いいたします。

できる限り多くの皆様と意見交換をさせていただきたいと思いますので、ひとまず、お一人様 1 質問とさせていただき、状況を見て追加の対応をさせていただきたいと思います。また、本日の意見交換会の趣旨を御理解いただきまして、特定の議員の意見を聞くような御質問は遠慮いただきますようお願いいたします。

それでは挙手の上、よろしければ、地区名とお名前をおっしゃっていただき、御発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

すみません、口火をちょっと切らせていただいて、あとは本日、参加している常任委員の者にいろいろお話をしていただけるのかなと思います。

実を言うと、11 月 8 日の日に、実は市長懇談会という形で、私どもの、この者が集まって、市長さんにいろいろと行政的なこととか含めて、地域の課題ということでお話をさせていただいて、地域をいろいろ知っていただくというようなことも進めていて、そんな中では、防災と減災のことがテーマであったり、空き家対策、それから少子高齢化の問題、それと、その他として、特に近々、いろんなところで課題になっております獣害問題も取り上げられて、随分なこう、話合いの場を持っていただいたこともあります。

今日は、市政それから議会、さらにこの、こちらにおける地域の課題ということで、地域の課題も様々あるんですが、そのあたりを今日は先生方にちょっと知っていただいて、ともにまた考えていただけるとありがたいなというようなことで、ちょっとこれは冒頭の

ちょっと口火ってということで、こんだけお話をさせていただきます。

あと具体的なこと、またそれぞれのうちの常任委員のほうから、話はしてもらえるのかなと思いますのでよろしくお願いします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございました。口火を切っていただきましたけれども、次に、どなたか御質問いただければと思います。マイクもお持ちしますので、挙手の上、御発言のほどよろしくお願いしたいと思います。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

小俣地区でございます。私の話といいますのは、今年度から始まるお木曳のことでございますけども、今日も先ほどちょっと三重テレビで15分ぐらい、遷宮対策事務局の担当の方、それと民間からの方がいろんなお話をしていただいてですね、伊勢のお木曳のPR、もろもろの話をしてもらっているんですけども、ほとんどの方がこのPRを、っていうか、この催しを知らなかったというふうなことでございまして、たまたまこの時間が重なってしまいましたのであれなんですけども、私は下で、それが分かってましたもんで車でテレビを見て、そのあとこっちに上がってきたんですけども。全体的に何が言いたいかというと、今回、第63回に向けて、伊勢市もそうですけども、県もそうです、前回の第62回のPRより、ものすごく遅れているんじゃないかなと。それは、実際前回は東京の六本木のお木曳をやり、また、その後札幌の雪まつりも大々的なPRをしてもらって、もちろんお金もかかることでございますけども、20年に一度のお木曳をもっと幅広く、先生ら方の立場の中でやっていただければ、もっともっと広がっていくんじゃないかなというふうなことでございますので。

一つ言いますと、私、10歳のときに初めてお木曳を経験した、その10歳のお木曳のことはまるっきり覚えております。それからですね、20年たって、その途中のお木曳ってどんなもんやったかなというのが、覚えてないもんで、特に小中学校の子供たちに、いろんな諸事情もあると思うんですけども、もっともっとPRできないかなというふうなことでございますので、またよろしくお願いしたいと思います。以上でございます。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございます。では、所管は。

■答弁（品川 幸久 議員）

PRをしろということを今言われたんですね、承りました。こちらのほうも頑張ってPRをするように働きかけたいと思います。ただ、なかなか今のところちょっと問題があるのは、前回と違って奉曳団の組織がなかなか、困っておるところが現状です。それで、人もいない、お金もないという中で、皆さん大分苦しんでおりながら、今、これも2月11日に結団式がされますので、そこから大きな動きを見せるとと思いますので、言われましたことは、一生懸命頑張ってPRをするようにしたいと思いますのでよろしくお願いします。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

ありがとうございます。よろしくお願いします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

よろしいですか。ほかにどなたかございませんでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

すみません、浜郷学区です。奉曳団の意見の後に、こんなちっちゃな希望を出してもいいのかちょっと迷ったんですが、毎朝交通安全でボランティアとして、もう15、6年立っております。最近の子供に対する犯罪、性犯罪とかいろいろなニュースを耳にしますと、やっぱりスクールゾーンのあるところは、私の学区だけじゃなくて、伊勢市全体として防犯カメラの設置なり何なりを考えていただきたいなと、最近つくづく思うんです。

ちっちゃな意見ですみませんが、また教育のほうに関して、よろしくお願いいたします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございます。どなたかお答えいただける方。

はい、それでは、西山議員お願いします。

■答弁（西山 則夫 議員）

ありがとうございます。防犯カメラの関係で担当しておった総務政策委員会というところに所属しておりましたので、この間、もう防犯カメラをつけようということになって、

5年がたつんですけども、役所の考え方っていうのは、各自治会へお願いして、防犯カメラつけてくれないかなということで、あそこにさっき発言された方なんか、よく御存じなんですけども、そういうのが役所で、私たちは、先ほどおっしゃったように、子供たちの安全、下校、登校の際の安全なんかも含めて、交通事故の関係も含めて、そして犯罪のないまちということで、ぜひ伊勢市でやるべきだという意見をこの品川議員と一緒にやってきたんですけども、なかなか、こんなこと言うと、当局の考え方になるんですけども、お金の関係とか、なかなか、これまでは成功しませんでした。

で、5年たちましたんで、一旦、ここで私も質問の区切りをしました、去年。ですから、もう少し、犯罪が起こったらあかんのですけども、やはり、市としてそういった交差点とか、交通安全上大変危ないところがあると思うんですけども、そこら辺には、きちっとカメラをつけたらどうやって意見は申し添えて終わっておりますが、これからもそういった御意見がありますので、諦めずに言っていきたい、このように思っております。以上でございます。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

実は去年の夏に痴漢があった。そういう現実がありますので、やっぱり、それで各自治体とか団体が防犯カメラ設置するのは、これはもう通達が来ていますからよく分かっております。だけど、お金も要ります。そうやってネットのようなあんなのを買っても台風で飛ばされてしまう率が多い。そうすると、役所が言うてくるのをするとすごくかかるんですよ、最初の持ち出しが。ということで、少ない町費の中からそれをやりくりしていくのは、なかなか大変なことでもありますので、できましたらそういうことにもまた協力をよろしくお願いしたいと思います。

■答弁（西山 則夫 議員）

はい、ぜひ応援団になってください。私らはそういう意味で、各自治会でも大きな自治会と小さな、私とこの自治会なんか、もう42世帯のちっちゃな単位の自治会で、そこで、カメラをつけるということになると、それこそさっきおっしゃいましたように、お金もかかりますし、そんな財力もないんで、町民の皆さんには言うてないんですね、あまり、つけます、つけますと。それをやり出すと切りがないんで。ですからそういった意味も含めて、役所の幹部の皆さんにはそういう意味も含めて申し上げてきましたので、引き続き、先ほど申し上げましたように、活動を続けさせていただきたいと思います。成果が出るか

どうかは別にしまして、言うことは言っていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

懲りずに言ってください。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございました。皆様の声が私たちの後押しをしていただきますんでね、皆さんもしっかりと声を出していただけるとありがたいと思います。

ほかにございませんでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

進修学区でございます。よろしくお願いいたします。進修学区といいますとおはらい町を抱えておりまして、今で言うところのオーバーツーリズム対策というのが、緊急の課題でございます。私も自治会長になってから、町民の皆さんからいろんな御相談を受けるんですけれども、そのほとんどが、この観光客の駐車であったり、ごみであったり、騒音であったり、いろんな問題がございまして、これはいろいろ解決していかないかんのですけれども、ただ、日本一の聖地に私たちも住まわせていただいとるもんですから、ある程度、これは許容していかないかん部分もあるんじゃないかなと思いますけれども。

ただ、最近おはらい町は、またすごい人がいらっしゃいまして、正月、2日、3日、4日はですね、おはらい町の上りと下りがもう動かなくなりました。特に4日の日はひどくて、全く真ん中あたりで動かなくなって、後ろからどんどん人は両方から来る、そういう状況が起こりまして、警察に通報いたしまして、やっとそれを解消できたという状況がございまして。

私それを聞いたときに、2年前ですか、韓国の雑踏事故を思い出しました。もう本当に何があってもおかしくない状況が、今おはらい町で起こっているということでございます。これから御遷宮あって、さらに観光客の皆さんお越しになって、大変な状態になるんじゃないかなと思います。

交通対策については、伊勢地域の交通問題対策会議のほうで練っていただいておりますけれども、歩行者の行き来についてはなかなか対応ができない、これは難しいことやないかなというふうに思っておりますが、何か今手を打っておかないと、大変なことが

起こるかなというふうに懸念をしておりますので、ここは、やっぱり行政と市民とそれから企業と、それと市議会の皆さんと一体になって、いろんな知恵を出し合っていて、対策をしないと手後れになってしまうんじゃないかなと思いますので、これ、ぜひ緊急の課題として、皆さん頭の中に置いといていただければありがたいかなというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございました。私、地元ですもんで、すごく痛感しております。本当に4日の日はひどくて、ああいう韓国のような大惨事にならなかったのが不思議だなというようなことですね。なぜそういうふうなことが起きるかっていうと、一つのお店とかを非難するわけじゃないですけども、そこで買っているときに滞留してしまって、そこでどんどんどんどん人が溜まってきて、結局は身動きがとれなくなってしまうっていうような状態が、これは今年のお正月の4日やったんですけど、去年もこういうことがありました。これをしっかりと、また、いろいろなところで、私も言わせてはもらっておるんですけど、なかなか解決できない問題があります。いろいろこう、道の前にいろんな看板が出たりとかいうところで、急に道幅が狭くなって滞留してるっていうようなこともあるんですけど、そういうところも解消させてもらえるように、しっかりと行政のほうにも訴えながら、進めていきたいと思っておりますので、どうぞ御理解していただきますようによろしくお願いいたしますと思います。

ほかにございませんでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

宮本学区です。市長との懇談会のときに、喫緊の課題といたしまして我々地域のところでは非常にもう本当に切迫しているような状況の獣害対策というのを熱く述べさせていただきまして、その回答は概ねいただいたように思うんですけども、それとは別で今回、お聞きしたかったのは、私ども、宮山小学校がございまして、以前は、そこも避難所になっていたんですけども、今裏山のことがありまして、避難場からは除外されております。その裏山のほうの対策といたしまして整備をしていただけるような話を聞いているんですけども、その進捗状況というのをちょっと分かる範囲で教えていただけたらなと思ひまして、今日お聞きしたいと思ひます。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございました。宮山小学校の裏山の整備についてですか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

市長との懇談会的时候にも、出させてもらっています。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

どういうふうに、その時は、お返事いただいていますかね。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

中村議員、何かそのとき。

■答弁（中村 功 議員）

すみません。御指名ですので、私そういう情報を全然持ってないんで、えらい申し訳ないです。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

宮本コミセンでやったときの、その裏山のことについて、言われたんですけど、検討しただけのような話を聞いたように思うんですけども、それが議会のほうでも上がって、どうかなっているのかなっていうのをちょっと今日聞きたかったんですけど、何も上がってませんか。

■答弁（宿 典泰 議員）

ないと思いますよ。産建も教民でもその話は一切出たことないですよ。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

そうですか。残念です。

■答弁（品川 幸久 議員）

今度の予算のときに、市長から思いがあって出してくるかも分からないですけど、今までの話の中では全然出てないです。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

出てない。いや残念です。

■答弁（辻 孝記 議員）

先ほどの話ですが、ちらっとこの前、市長と話したときに雑談で出た部分がありまして、今県のほうが調査をされて、一応調査されたということで、これから進んでいくような話をされておりまして、ちょっと確か議会のほうには、まだ何も報告はありませんので。

ただ、あの問題に関しましては、急傾斜地の関係で危険ということで、それは、あれは指定しているのが県なものですから、県が指定している話になりますので県のほうで今対応してもらってるような状況のことを今聞きましたけど。議会のほうに上がってないので僕はなんとも言えないんですが、一応そんな状況だけはあるのかなというふうにちょっと理解していただけたらと思います。小学校の先生も言ってましたので、ちらっと。ありがとうございますということで返事していましたので。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

獣害の被害については、宮本地区だけではないと思いますんで、そのときにお話になったことを、簡単にもしよければ、今お話しいただければと思いますけど。

■答弁（野崎 隆太 議員）

すぐ終わりますんで。今、お話いただいた件ですけど、ちょっと調べてみたらですね、平成 28 年の 11 月 4 日の市長との懇談会でもその話を質問されてる方がいらっしゃるみたいなので、ただそこから確かに議会には上がってきてはいませんので、今日議長含めてみんないるので、平成 28 年から上がってるってことだけ皆さんこれで多分理解したと思いますんで、僕から進めますとは言えませんが、ということらしいですわ。以上です。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

一歩でも二歩でも前に進んでいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

獣害対策の件ですね、あれは、この前お聞きしまして、今年度のうちに一応練習というんですか、追い込みの訓練をするというふうに聞いております。来年度、またその専門の

先生に来ていただいて、どこにオリを設置したらいいかっていうところも含めて、またそれは来年度の検討のようなことを聞きました。ただ今年度のうちには一応モデルとして、追い込み対策をしようということを聞いております。今のは猿に関してです、はい。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

猿をオリに追い込む、そうですか、イノシシの話かなと思ってました。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

ちょっと話を今、関連の話でいいですか。まず、今話があった中で、これは県のことで市議会議員の先生方は聞いてないとかいう話は分かるんですけども、実際、私どもも、去年の役員の小俣の地区の方が、例えば小俣町の踏切の問題、明野地区の学校周辺のことに、いろんな質問は、私もその場に携わったんですけども、議員の先生らはほとんど分かってないっていうか、聞いてないっていう話が、あれですね、途中経過とか、今どうなっとなのやというふうなこと自体が、結構、初耳やというふうなことを言われる方がみえるもので、その辺はもう少し、市民と議員と、それと県なり国なりというのが、ある程度の何らかの形でそういうふうな横のつながり縦のつながりってのを持ってもらったら、解決ができるできないやなしに、少しでも先生がもう分かってくれてこれは県の話なんやな、これは何々っていうふうなことぐらいは、私らから見たら当たり前の話じゃないかなと、っていうふうにちょっと私、今ふと思いましたので、ちょっと横からすみません。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございました。情報共有ということだと思うんですけど、いろいろと心がけて進めていきたいと思っております。

また、先ほどの獣害対策の件もやはりこう、僕もどこかで話を聞いたんですけど、獣たちの隠れる場所を、まず地域のまちづくり等々さんで、まずそういうところから直していくとか、人目につくのが怖いので、なかなか地元、まちの中に、里山にも下りてこないっていうような獣の習性もあると思うので、そういうところから茂った草むらがあるところを削っていくとかね、そういうところもまちづくり協議会と協力して、進めていければなというふうに思っておりますので、よろしいですかね。

ほかにございませんですか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

最初にですね、今回、私どもから1問、1人になるべく1問にせえということでしたもので、私としては本来、中心市街地に私ども暮らしております。厚生地区です。その問題で、本当は少し提言させていただきたいなと思っておるんですが、先ほど動物なり野生動物、特に私が関わってきた猫の問題、このあたりに対して、もう少し市としても、力を入れていただきたいというふうに私は、過去携わって思っております。

特に、市の農林の担当者と保健所の担当者とそれぞれの役割が違う、テリトリーが違う、そういうことで、やることも、野生動物と猫なり犬なりという、うちで飼ってる愛玩動物、そういったことで違うし、また私どもが活動した中で、何ていうんですか、ハクビシンとかタヌキとかそういうものと、アライグマとそういったものの扱いも違うと、こういうことですね、地区としても扱いを大変苦慮しておりますし、また、捕まえたそのものについても、猫などを例にとりますと、元に戻すと、こういうことになると、飼ってあって、苦慮しておるのが、また同じところに戻せば、何も対策になってないというような地区のいろいろな苦情もあります。

ここらまわしについて、分かっていたく方は、かなり理解してもらうと思います。何遍もこういうことについては言ってきておりますので、もう少し力を入れて努力をしていただきたいというのが私のお願いです。以上です。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

貴重な御意見ありがとうございます。

宮崎議員お願いします。

■答弁（宮崎 誠 議員）

御意見いただきましてありがとうございます。私も猫に関しては、ちょっと対応させていただいた経緯もありますので、少しだけ御説明をさせていただきたいと思います。

基本的に殺処分ゼロということを目標に県のほうが掲げておりまして、「あすまいる」さんっていうのが県の施設であるんですが、そこで実際に、捕まえてきた猫を、避妊そして去勢手術のほうをしていただいております。で、一般的に、御家庭の猫とか犬については、補助が数千円出るという形で市としては対応させていただいておりますが、基本的には、保健所の管轄になっております。

これについては、現状では、伊勢市のほうでは環境課のほうにも御協力をいただいて、オリの貸出しについては農林のほうでやっておりますので、それについては自治会のほうで、申請をしていただいて、オリのほうをお借りしていただくという形になってくるかと思っています。

実際に課題として、猫のふん尿の臭いですね、これが去勢をしているものとしていないものとすごく差があってですね、去勢をしたもので言えば、地域で捕まえていただいて、去勢手術をして元に戻すってお話がありましたが、地域に戻すっていうのが基本原則となっておりまして、TNR活動というものにつながっております。この場合に、去勢をしたもの、また避妊をしたものというのは、臭いがすごく少なくなるっていうのと、一般的に飼い猫であれば、10年、20年、生きている猫ちゃんもいるんですけども、一般的に言えば、そのまま野良猫、捨てられた猫に関しては、短ければ1年以内とか、長くても4、5年で亡くなっていくっていうのが現状のようです。

ほぼほぼですね、野良猫になった理由というのが、飼うことがもう無理になって捨てられてしまうとか、去勢手術を、また避妊手術をしていないという理由で、猫が無造作に増えていく、飼育崩壊ですね、というところで伊勢市内でもかなりの件数が出ているのは知ってみえる方もいれば知らない方もいるかと思うしますので、そういった現状があります。そこに、市としては対応できないという面もありますので、地域のボランティアの方にも御協力をいただいて市内を含めて、周辺の市町のほうにも、そういった協力をしていただいて、避妊とか、去勢手術のほうをしていただいているという形になってます。

市としては、クラウドファンディングをさせていただいて、これまで、昨年度までは200万円でやっていただいたんですが、今年度は100万円のクラウドファンディングをさせていただいているということで、その費用からそういった、自治会で捕まえていただいた猫ちゃんたちの去勢手術の費用の支出だったり、運搬にかかる費用だったりとか、そういったものに使わせていただいているのが今現状です。

地域で戻ったときに、特に変わってくるのが、そのふん尿の臭いも言いましたけれども、年に多ければ4、5回産むっていうのが、現状で伺ってますので、特に気温が高くなればなるほど、年間に増える数があると、多くなるということもありますので、そういった点については、少しでも、気候変動に対しては対応できませんが、やはり去勢手術をしていく、地域で捕まえていくっていうのが一番、大きな課題かなと思いますので、皆様のお力添えが、ぜひとも必要になってくるかと思っています。

手術をすればいいだけではなくて、夜中にどうしても、盛りが来たときの鳴き声、これ

もすごく変化があると聞いてますので、今までずっとうるさかったものが静かになってきたということも伺っておりますので、そういった利点はあるかと思いますが、何よりも、やっぱり、けがをすとか、お子さんがけがをすすというとか、そういったところが一番安全につながる面もありますので、まずは周辺の自治会でやろうと思っても、えさをやっている方からしたら、それは傷つけることだという誤解を招くこともありますので、地域での課題として、まずは皆さんに理解をいただいた上で捕獲をするということにまずは御協力いただければ、ありがたいかなと思っております。

最近では、獣害の中で言えば、ハクビシンとかアライグマの件もあります。特に最近の小俣のほうではキツネも出てきたりとか、いろいろ課題がありますが、何よりも子供たちが無造作に触ってしまうと、けがをすすだけではなくて、いろいろな菌を保菌してすすので、そういったところで病気につながるとかというところもありますので、そこは自治会さんでも御注意を、警戒をしていただいたりとかですね、実際、これまでに違ったのが、アライグマを今までであれば、捕獲をすることができてす…。

そういった点もありますのでまた、詳しいこと、市のほうで聞いてもらえたらありがたいかなと思ひます。以上です。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。地域の皆さんの協力がぜひとも必要やというふうにも思っております。まちなかですすので、残飯とか猫の好きそうなものを出しておかないとか、夜に餌やりをする方がみえるとかいうのもあつて、なかなか猫の数が減らないのかななというこもあつたりすすので、地域の皆さんの協力は必要やと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。よろしいでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

私の思つておることと皆さんの考へておることつていうのは、かなり差があるというだけは言わせていただきたい。私としては生き物ですす、何とかその生き物に対してですすね、やっぱり私どもも生きてすす、猫も生きてすす。そういった動物も生きてるわけすすから、それに対してのある程度レクチャーというのはあるんではないか、そういうことを考へますとすすね、もう少し何か踏み込んだ対策も必要ではないかなという気持ちだけ、私は持つつて、今、自分の活動が続けさせていただいておることだけ、ここできさやかですが言わせていただいたら、今後、私と一緒にそういったことをしてくれる

方の力添えになるのではないかと思います。いらんこと言いましたが、よろしくお願いいたしますします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございます。お気持ちをしっかり受け止めさせていただきましたので、よろしく願いしたいと思います。

ほかにございませんでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

すみません、北浜学区です。先ほどの話で、私どものほうも市長との懇談会の際の情報共有がなされてなかったり、ちょっと不安かなと思いましたので、再確認の意味も踏まえまして言わせてもらいます。

昨年8月28日に東大淀学区のほうで市長との懇談会がありました。その際に、案として言わせていただいたのが、市長のほうも分かっております、という回答はいただいておりますけども、その道路の白線が薄れておりますので、伊勢志摩腎クリニックさんから海側に向かっての、あれは市道になるんですかね、あちらのほうのサイドラインとセンターライン、あちらのほうもう、全く見えてないような状況で、あそこが伊勢警察署からいくと、東大淀地区では一番事故の多い道路なので、あえて雨の日なんかは特に見えませんので、そのあたりの要望を言わせていただきました。

あとは同じ今度は県道の713号線なんですけども、バイパスから東大淀地区に入る信号までの道なんですけども、どなたでも、往復走っていただければ、すごくバンピーな道路になってしまっていて亀裂もたくさんありますので、その辺の県道713号線の舗装のほうも進行していただければなということだけ言わせていただきますので、もし情報のほうが共有されていなければ、その辺は周知していただきたいなと思います。以上です。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。

浜口議長お願いします。

■答弁（浜口 和久 議長）

私とこの地元のことで、町会さんからも要望書も出していただいて、東大淀地区の

町のほうから、もう言うたらお金の問題なんですわ。少しずつ少しずつ、アスファルトの塗り替えというのは、順番にやってますけども、結構長いんで。例えばバイパスから東大淀のところまでっていうと、あれ2キロ近くないですかね、1キロぐらいですか、例えば言うと、うちの村松なんかでも、隣なんであれなんですけど、村松なんかでも、村松の郵便局のところからバイパスまでって言いますと2キロあります。そうするとそれ全部わだちになっとなって、例えば子供たちが自転車で通学のとくに走るっていうときも、端っこ走っっても、もう危ないんですよ、わだちになっとなって水たまりになっておる。そうすると車も走りますから、そんなんで順番にっていうふうな状況なんですけども、本当にその部分につきましては、舗装とかそういった部分につきましては、お金の問題っていうのがちょっと大きくのしかかっておりますので。そやけども市のほうも、その辺、危険箇所っていうふうな状況の中で分かっておりますので、徐々に予算をつけて頑張っていってもらいたいと、私のほうも要望はさせていただきたいなというふうに思っております。以上です。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

ほかにございませんでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

船江連合会と申します。私は県外なんかのまちおこしの会議とかによく参加させていただいて、よく県外のそういう委員の方からよく言われることがありまして、私伊勢在住ということで、いろんな意見をいただいたときに、よく、伊勢なんかっていうのはお木曳であるとか遷宮である、20年に1回ずつ景気が来るからっていうことで、その間、なかなかその観光に対しての力の入れ方が薄いんじゃないかと、よくそのように言われます。

それ、なぜかっていいますと、いわゆる、1月25日なんかでも、そのアニメなんかにはですね、熊野市なんかの「凧のあすから」っていうアニメが過去に放送されたんですけど、そのアニメなんかに対しての熊野市観光協会なんかは作中での食べ物の再現であったり、それを販売しています。それはもう日本テレビのニュースで出てたりします。あと、1月26日なんか伊勢新聞なんかで、熊野市の観光協会がラッピングのバスであるとか、ホテルの内装であるとか、弁当であるとかっていうことをですね、いろいろこう、観光協会を通じていろいろこう、大型な企画を練られています。そのときに、クラウドファンディン

グで約 100 万円の予算で、昨年ですか、募ったところ、約 2,000 万円ぐらいの予算が集まると。

アニメに対してすごくその何かやることによって、観光っていうのがかなり盛り上がるというような方向性が非常にあります。特に伊勢なんかですね、今から約 20 年近く前に、「半分の月がのぼる空」っていう、アニメがありました。で、それに関しては、虎尾山で殺人事件もありました。悲しい出来事もありました。しかし、私は京都なんかの宇治なんかでいきますと、皆さんも御承知のように京都アニメーションなんかの放火事件があって、先日死刑が確定されたというニュースもありますように、やっぱり負の遺産もあるんですけど、一生懸命その市のほうがいろいろ頑張って、「響け！ユーフォニアム」、いわゆるその、市挙げてですね、京阪電車なんかとコラボしていったりという、今現在その宇治市なんかをNHKで、大河ドラマですね、紫式部なんかでもかなり、いい感じで観光客集まっております。そういう加減で伊勢なんかでも、来年あたり、アニメーションが放映されてから 20 年なんだけど、伊勢市は何も全然動きがないよ、どうなってるんですかっていうふうに、県外でちょっと会議行ったときによくその話をされるんですけど。それによって、もっともっと観光客を集めていろんなことを企画していったら、もっともっと若い方の活気づくまちづくりになるんじゃないかというふうに考えて、ちょっと意見を述べさせていただきましたけど、よろしくお願いします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございます。もっとう、観光に力を入れよというお話だと思うんですけど。どなたか。

■答弁（品川 幸久 議員）

アニメの話はまたこちら、一つの方法として、観光については、前回の御遷宮のとき、ちょっと前ぐらいから、伊勢市の予算のつけ方が変わってきてます。年度会計でありますので、大体 12 月には全部使ってしまっていて、次の 3 月までお金がないような状況で来たんですけど、伊勢市は鳥羽も志摩もみんな分かっとなるんだけどようせん、債務負担行為というのを組んで、1 月、2 月、3 月に使える金を常時置いてあります。

皆さん多分、前回からずっとテレビ見ておると、伊勢市がすごくテレビに出てるっていうのは、よく分かってもらえると思うんですけど、年がら年中、伊勢はテレビに出ておる。そういうところをやっぱ布石打ってきたんで、1 回打つと次のテレビ局がまたそこを使

うということで、結構露出度は高くなって、いい方に進んでおるといようなことだと思います。ここ最近いつでも、外宮さん内宮さん、おはらい町、全部出てくるというのはそういうことなんですよね。

ただおっしゃるように、アニメのほうっていうのは、ひょっとしたら力不足なんかな。観光にしては、伊勢志摩コンベンションというのと、これ、団体でやっとなのと、伊勢市がやっとな、これ2つあるので、そこら辺の関係もあって、例えば映画であるんやったらコンベンションがやるとか、そういうようなところがありますので、私らも産業建設の、観光なんで、一生懸命つついて、するようにしたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。以上です。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございました。

ほかにございませんでしょうか、たくさんの方にお話いただけてますけど。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

大湊学区です。どこの地域も一緒だと思いますが、高齢化が進んできております。高齢者の皆さんが、楽しく元気に生活していくにはどうしたらいいんかということをしていろいろ悩んでおります。その中で、先生方はいろんなところに視察に行ってみえると思いますので、これから、どうしたら高齢者が元気で明るく生活できるようになるかということを考えてあれば、お聞かせ願いたいんですけど、よろしくお願いします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。

どなたか、では、楠木委員お願いできますか。

■答弁（楠木 宏彦 議員）

介護のことなんですけれども、全国的には、職員さんがすごく減ってきておって、事業所も閉鎖したりという話を聞きますけれども、伊勢市は比較的そのところは、うまくできているというか、逆に事業所なんかも増えているような状況なんですよね。

だから、そういったところは、つまり介護を利用できる方々、それはいいんですけど、それ以外のまちで生活している方々をどうしていくのか、それは確かに難しい問題だと

思うんですよね。大湊なんかでもそういうふうな、食事を配布してとかやってもらってますけれども、そういったことは、それぞれの地域で取り組んでもらわなくちゃいけないのかなというふうに思うんですよね。今、高齢者福祉っていうのは、その地域でも担っていくというところが非常に大きな課題になって、そこら辺を伊勢市でも随分進めてますのでね、それはやはり、地域でしっかりと自主的にやってもらってくれなくちゃいけないかなということはあるんだけど、それとあわせてやっぱり市としても、そこら辺のところはきちっと介護事業所どうなのか、あるいはそれぞれの自治会などの取組、どうなのかということについては、しっかりともうちょっと見ていかななくちゃいかんっていうところはちょっとありますよね。

高齢者福祉については、以前は措置制度だったんだけど、今は自分たちで選択して、できる形になってますもんですから、ちょっとこう市の関与が薄くなっているのかなというような感じがするんですね。そこら辺は、やっぱりしっかりと市でも組織として対応できるような、そういうふうなものをつくっていく必要があるのかなと思います。そんなことでしょかね。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。民生委員さんたちの御努力が本当に大変なことやと思います。地域で見守るっていうことも大切なことなのかなというふうに思いますし、やはりその辺は、皆さんと一緒に行政のほうも、私たちもしっかりと取り組んでこれからもいきたいというふうには考えておりますので、どうかよろしく願いしたいと思います。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

漠然と言わせていただいたんですけど、要するに、バスの回数も少ないと。医者行くのにも買い物に行くのも大変だということをつつかれるんですわ、町民の人に。何かの機会があれば、議員の皆さんにお願いしてくれということで、私ちょっとお話をさせてもらったんですけど、確かにせっぱ詰まっとんのは詰まっています。交通手段のない人は歩いて、30分か1時間ぐらいかけて買い物に行って、重たい物持って帰ってくる方もみえます。難しい問題だと、お金のかかることもあると思いますけれども、何とか元気に生活ができるようにしていただければありがたいなと思っていますので、何かいい考えがあれば、また今後ともよろしくお願いします。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。やりがいとか生きがいを生む政策というか、高齢者の方も外に出ていただいて、体動かしたり、話をしたり、大笑いをしていただくというのが長生きの秘訣やということも聞いたりもしますので、そういうためにもやっぱり、交通空白地とは言いませんけど、やはり外に出るような施策は、これからも、おっしゃるように、私たちが気をつけていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

はい、ほかにございませんでしょうか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

申し上げたいんですが、1人1問ですが、もう時間もないので、このことを一言言っておきたいという意味も含めてですね、私は中心市街地、旧の市街地ですね、厚生学区に住まいしております。かなりの議員さんも中心市街地にお住まいです。

その住民は、何を求めているのか、私は南北の道路事情だと思っています。救急車、消防車、そして、自分らの生活のビジョンも南北から踏切を越えて行くのに、どうしても長い時間を止められるとか、また必要なときに止められてしまうと、こういうようなこともございます。日々大変、ある程度、困っておるので、何かの機会にはそういうことを言ってほしいというのが住民の偽らざる気持ちで、私は機会があるとそのように申し上げておるわけでございます。

これから御遷宮や、何だといろいろな方面でありますし、お正月とかそういうようなこともあります。もっと、今の交通事情以上に住民は苦しむわけです。それも一つお含みいただいて、何か善処していただくことをお願いできないかなっていうのだけ言わせていただきたいと思います。以上です。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。

宿議員よろしいですか。

■答弁（宿 典泰 議員）

はい、宿と申します。私のほうでお答えして、それがお答えになるのかどうかあれですけども、実際は南北、JRと近鉄線で南北分断されておる、そのことに対して、20年

以上前は議会挙げて、線路高架化であったりとか、もう一部、松阪より北勢のほうは順次やっておりますけれど、その話を私も何度もしておりますけれど、なかなか伊勢市としては、400 億円以上かかるビジネスですので、なかなか手が出ないということを言っております。

実際にはもう今、それから随分たっておりますから、倍以上のお金がかかるんじゃないかなということのところで、なかなか解決が見い出せない。踏み切りの時間を少しでも短くしようやということでやっておりますけれども、それはもう、大変苦労したとしても何秒の話ですので、やはり J R と近鉄線のまたぐアンダーかオーバーか高架化というようなことしかないのではないかなと、こんなことを思っております。お気持ちも理解しておりますので、私のほうからも、もうこれは、どれぐらい日にちかかるかは別としても言い続けていきたいと思っておりますので、御理解をください。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

ありがとうございます。

よろしいですか。

□質問・意見（伊勢市総連合自治会役員）

もう私の言いたいことは言わせていただいたし、皆さんのほうにも十分その心持ちはつかんでいただいたと思いますので、ありがとうございます。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

はい、ありがとうございます。

ほかに御意見ございましたら挙手のほうよろしくお願いしたいと思います。

まだ少々お時間ありますけどよろしいですか。よろしいですかね。

それでは、以上で、意見交換会のほうを終了させていただきたいと思います。

貴重な御意見、御提言をいただきまして、誠にありがとうございました。

それでは、意見交換会、閉会に当たりまして、広報広聴検討分科会上村会長より御挨拶を申し上げます。会長よろしく申し上げます。

■挨拶（上村 和生 広報広聴検討分科会 会長）

本日はお忙しい中ですね、私どもの市議会との意見交換会に御参加いただきまして本

当にありがとうございます。私、広報広聴検討分科会のほうで会長させていただいています、上村と申します。

各自治会から直接、御意見をいろいろと頂戴しました。本当に地域によってはいろんな課題を抱えてみえるんだなということが、つくづく分かりました。最初の浜口議長の挨拶にもありましたけども、今日いただいた御意見を参考に、今後の議会運営や行政に結びつけていきたいと、反映していきたいと考えております。今後とも、このような機会を継続的に実施できればなというふうに思っておりますので、そのときにはまたよろしくお願いしたいと思います。

以上で簡単ではございますけれども、私からの挨拶とさせていただきます。今後ともまたよろしくお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

●司会（久保 真 広報広聴検討分科会 副会長）

以上をもちまして、市議会と市民との意見交換会を閉会いたします。

本日は御参加いただき、誠にありがとうございました。

閉 会